

UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 USA

新サーキットライダー2010年 3月号



U nited M ethodist C hurch - J apanese A merican M inistry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: www.umc-japan.org

受難から復活へ

何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。互いにこのことに心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。キリストは、神の身分でありながら、神と等しいものであることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。

フィリピの信徒への手紙 2：3-11。

「たとえ明日世界が滅びようとも、私は私のリンゴの種を蒔く。」原文“Even if I knew tomorrow would go pieces, I would still plant my apple seed.”これは一度聖日礼拝でもお話しましたが、ニュージャージー州とペンシルベニア州で亡くなる直前まで55年もの長きに渡り牧会を続けたクロフト・ペンツ牧師が書いた *The Complete Book of Zingers* という本の中の言葉です。

ペンツ牧師はマサチューセッツ州に生まれ、牧師を志し神学校に学んだ後、耳の不自由な方の為の伝道に召命を受け、ニュージャージー・エリザベス（私の住むバーゲンフィールドから45分位南に位置する町）で聴覚障害者支援カルバリー・チャペルという教会を自ら立ち上げました。そこで44年の長きに渡り、聴覚障害のある方たちの為手話やビジュアルを導入した礼拝をし、平日は彼らの自立支援活動、社会、規制の改善に取り組みました。またそこを定年退職した後も、ペンシルバニアのアッセンブリー教会で更に11年牧師として神と人にお仕えし2008年に昇天しました。

昨今、「生涯現役」という言葉をよく耳にします。特にスポーツ選手とか芸能人で。しかし本当に死ぬまで何かの仕事を続けた方は、或いは続けている方はそれほど多くはないように思います。ペ

ンツ牧師は亡くなる直前まで神に仕えた真の生涯現役牧師でした。彼は生前本を2冊出版していますが、*The Complete Book of Zingers*（直訳すると「辛らつな言葉（皮肉）完全網羅全集」でしょうか）は長い牧師生活の中で聞いたり学んだりした多くの格言を一つの本にまとめた物で、そこにはペンツ牧師の生き様、人生の真理、キリスト教の教えとそれを守れない私達へのユーモアを交えた訓戒が書かれています。「たとえ明日世界が滅びようとも、私は私のリンゴの種を蒔く。」は正に亡くなる1年前体力的に聖壇に立てなくなるまで牧師として神と人に仕えたペンツ牧師だからこそ言えた言葉です。

ペンツ牧師ほどではありませんが、私も高校時代に始めた美術は学術研究と言う形で、また1981年に初めて参加したクリスチャン伝道サマーキャンプ（1977年に日米合同教会が始め、現在はSMJが主催の日本語キャンプ）は今も続けています。この伝道キャンプは途中で参加者が集まらず中止した時期もありましたが、その間も合同メソジスト教団ニュージャージー教区のキャンプ委員を務めたり、東京フロストバレーYMCAのアドバイザー委員を務めたりしながらキャンプに関ってきました。それは私にとってキャンプ伝道は私のリンゴの種だからです。だから中途半端に関りたくないし、キャンプを通して最高のもの＝神の愛、救いを参加キャンパー、リーダー達に伝えたいのです。美術教育を学んでいるのも同じ。自分は絵画、彫刻が好きだというのがありますが、キリスト教絵画、宗教美術には多くのメッセージ、聖書の教えが表現されています。知られていない教理、奥義を学び、それを多くの人にお教えする。これも私のリンゴの種です。

イエス・キリストのリンゴの種は「神の国を宣べ伝えること」でした。そして人々に示した教えは 1、本来人間は神と共にあるべき存在である。2、だが、今は神から離れて罪の世界にいる。3、だから神の元に立ち返れ。4、その為私（イエス・キリスト）が神に執り成す。5、そうすれば神はあなた方を許してくださる。ということでした。

その為、イエス・キリストは尊い神の子でありながら、貧しい人の子として馬小屋という極貧の中この世に生を受け、人々に仕え、宗教指導者や政治指導者から罵られ、最後は十字架に架けられてしまいました。しかしイエスは「たとえ明日世界が滅びようとも（自分の命を落とそうとも）私

は自分の十字架を追う（自分のリンゴの種を蒔く）」という姿勢を貫き、逃げることもせず最後の最後まで神の御心に従いました。それ故、神はイエス・キリストに復活という人知を超えた奇跡の栄光をお与えになりました。

復活は単なる奇跡物語ではありません。死を覚悟して神の御心に忠実に生きたイエスに与えられた最高の栄冠であり、人の子イエスが神の子イエスになられた記念すべき出来事です。今日、私達が日曜日に休むのもこの復活が日曜日の朝起こったからです。ユダヤ教では土曜日が安息日（今でも）でしたが、イエスが復活されたことを記念し日曜日が世界中の聖日（休日）になったのです。

多くの人がその事実を何も知らずに「イエス・キリストは主である」という告白に倣っているのです。そう思うと何だか滑稽でもあり哀しくもあります。が、私達は主の栄光を更により多くの人に伝えるべく、私達のリンゴの種を蒔こうではありませんか。たとえ明日世界が減んでも！

Happy Easter! 復活を心よりお慶び申し上げます。

吉松 純

礼拝予定：

3月

- 7日 礼拝、聖餐式、Jr. 教会、日本の春の行事を学ぶ
- 14日 礼拝、Jr. 教会、「放蕩息子の話」
- 21日 礼拝、Jr. 教会、JOCs の為切手整理
- 28日 棕櫚の聖日（パームサンデー）
礼拝、Jr. 教会、棕櫚を使った工作

4月

- 4日 復活祭礼拝、聖餐式、Jr. 教会、玉子細工、祝会の準備。礼拝後、持ち寄りで祝会
- 11日 礼拝、Jr. 教会、復活祭の出来事を学ぶ
- 18日 礼拝、Jr. 教会、春の七草と団子

行事、プログラム案内：

- * レント期間中、毎週木曜日：
パンとスープの夕食、聖書の学び。英語のプログラムですがどなたも歓迎いたします。
- * 28日（日）礼拝後、SMJ に協力し、高校生、ユースの聖書の学びをします。お友達をお誘いください。（通常、第四日曜日）
- * 4月1日、聖木曜日（洗足の木曜日）最後の晩餐と聖餐式礼拝（英語）午後7時。ユダヤ式過ぎ越しの食事をしながらイエスの最後の晩餐を偲びます。
- * 4月2日、聖金曜日礼拝（英語）テネブレイ（消灯礼拝）午後7時30分より。イエスの十字架を偲ぶ礼拝です。どうぞご参加下さい。

* 4月4日、復活祭早朝礼拝（英語）クーパーズポンドにて午前6時30分より。町の教会が集い合同礼拝をします。イエス様は明け方復活されました。皆さんも早朝礼拝を体験しませんか。

* 4月4日、復活祭祝会。日本語礼拝後（午後5時）。持ち寄りで復活をお祝いします。どうぞご参加下さい。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先は UMC-JA とし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

* 自然災害被害者の為、特にハイチとチリの地震被災者の為。

* サマーキャンプの為

* 2010年東部日本語教会合同ファミリーキャンプの為

* ハーベスト・タイム放送が3月末で終了します。ハーベスト・タイム、中川健一先生の新たなミッションをお祈り下さい。

* 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOCs）に送ります。JOCs 海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

* ケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さんの為に特別献金をしています。

* パターソンの St. Philip 伝道と社会福祉団体 CUMAC/ECHO の為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達のための炊き出しと路傍伝道をしています。

報告：

* 子供のサマーキャンプは7月25日（日）から8月6日（金）の2週間です。費用は全て込みで1300ドルで対象は小学三学生から中三まで。2週間フル参加が原則です。どうぞ御近所にお子さんがある家族がいましたら、差し上げて下さい。

* 今年の東海外日本語教会合同ファミリー・キャンプは9月4、5、6日のレイバー・デーの週末です。皆様、今からどうぞ予定に組んで下さい。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス (201) 385-4100

ホームページ：<http://umc-japan.org>

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 junyoshim@optonline.net

教会学校担当：吉松 泉姉

izumi.yoshimatsu@gmail.com

UMC 日本語ミニストリー 受難週集会、復活祭の案内

婦人たちは、安息日（金曜日日暮れから土曜日日暮れまで）には掟にしたがって休んだ。そして、週の初めの日の明け方早く、準備しておいた香料を持って墓に行った。見ると、石が墓のわきに転がしてあり、中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。そのため途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人がそばに現れた。婦人たちが恐れて地に顔を伏せると、二人は言った。「なぜ、生きているお方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話になったことを思い出しなさい。人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」（ルカによる福音書 24：1－7）。

受難週、復活祭礼拝スケジュール

- 4月 1日、聖木曜日礼拝（英語）：午後7時より。最後の晚餐に因み、過ぎ越しの食事を頂き、聖餐式礼拝を守ります。
- 4月 2日、聖金曜日、テネブレイ（ろうそく消灯）礼拝（英語）：午後7時30分。
- 4月 4日、復活祭礼拝：
1. Sunrise Service（夜明けの礼拝）、クーパーズ・ポンド（South Prospect Ave & West Church Street）にて他教会と合同・午前6時30分（英語）。
 2. 英語礼拝・午前10時。
 3. 日本語・午後3時より。Jr.教会は玉子色付け。日本語礼拝後、牧師館にて祝会（持ち寄り）

* 献金袋を同封致しました。献金は日本語伝道、子供達のプログラム、ニュースレター、他の活動にあてられます。御協力頂ければ幸いです。

献金のあて先は UMC-JA とし、献金のご希望があれば Note に記下さい。